

# 令和元年度(2019年度) 児童館活動報告書

- ・ 西原公園 児童館 ……P1
- ・ 託 麻 児童館 ……P2
- ・ 秋 津 児童館 ……P3
- ・ 東 部 児童館 ……P4
- ・ 西 部 児童館 ……P5
- ・ 花 園 児童館 ……P6
- ・ 幸 田 児童館 ……P7
- ・ 南 部 児童館 ……P8
- ・ 清 水 児童館 ……P9
- ・ 龍 田 児童館 ……P10



令和元年度(2019年度) 西原公園児童館 活動報告

	開催月	事業名	活動内容	備考
児童館行事	9月	運動会	外の公園の敷地で実施する予定だったが、熱中症対策で児童館の3階ホールで実施。予定していた競技を減らしての実施となった。近隣の小学校にも案内をし、小学校の先生の参加もあった。幼児は、踊りやかけっこを一生懸命にする姿がみられた。恒例のパン食い競争は、幼児から大人まで参加し、高さや難易度を変えてみんなで盛り上がった。尚綱高校の生徒もボランティアとして参加し、お手伝いのほか、競技にも参加していただいた。	
朝の活動 / 子育て支援	4月～6月	火災訓練・AED研修	消防訓練では避難経路の確認や消防士の説明を受けて、消火器を使つての消化訓練やAEDの使い方を勉強した。消防車も来て、子ども達はとても喜んでいて。西原公園児童館は、児童館のみの単独施設で3階建てのため、職員も利用者が非常時の命を守るためにどのように行動すれば良いのか再確認するよい機会となった。	
	7月	ひよっこ夏祭り	手製の神輿を担いだ後、保護者と一緒にゲーム等に参加した。祖父母が参加されることもあった。ゲームは、縁日形式で、お菓子釣りやおもちゃの金魚すくいをして楽しんだ。	
	3月	ひよっこお別れ会	1年間一緒に遊んだり勉強してきたお友達ともお別れする会。 4月から保育園や幼稚園への入園、引越越し等で会えなくなるお友達や保護者もいるため少し寂しいが、1年間の子どもの成長と一緒に振り替わり、例年和やかな雰囲気である。	コロナウィルス感染予防のため、お別れ会中止
児童クラブ	通年	珠算クラブ 書道①クラブ 書道②クラブ 書道③クラブ 硬筆クラブ  卓球クラブ	珠算クラブは2～6年生を対象としている。 そろばんを初めて見る子どもたちは不思議そうな表情だった。回を重ねるごとに、指さばきも上達し、集中力も継続時間も上がっているようだった。  書道クラブは3～6年生、硬筆クラブは1～2年生を対象としている。 硬筆クラブは、小学校で文字を習い始める低学年を対象とした。最初は、崩れていた文字も講師の指導を受け上達していた。 書道クラブは、筆の持ち方から指導しがあり、トメ、ハネ、はらい、文字のバランスのアドバイスを受け、熱心に取り組み、褒められることも喜びになり、文字を書くことを楽しんでいた。  卓球クラブは3～6年生を対象としている。 人気の講座で、ラケットの持ち方やルールから始まり、試合では大いに盛り上がる。勝つ喜びも負ける悔しさも味わうことで、心も成長したようだった。	土曜日・日曜日に練習。  コロナウィルス感染予防の為、3月の各クラブの練習及び閉講式は中止
特別行事	7月	夏祭り	母親クラブ・尚綱高校のボランティアの生徒の協力のもと、バザーやゲーム等を実施。バザーはたこ焼きや綿菓子等。綿菓子は、事故防止のため、袋で用意し、幼児から小学生まで人気だった。小学生は、お小遣いを確認しながら、お友達同士でどれを買うか相談する姿も見られた。ゲームの射的は、幼児用と小学生用を準備した。小学生は、何度も挑戦する子どももいた。幼児は、保護者と一緒にし、当たると子どもも親も一緒に喜ぶ姿があった。父親の参加あり、平日は児童館に来れない父親が、普段子どもがどんな場所で遊んでいるのか見る機会にもなった。	
	10月	秋祭り	文化祭を改めて秋祭りとして実施。母親クラブの協力もありバザーやゲーム、移動動物園を実施した。バザーは、綿あめ、フランクフルト、豚汁を準備。少し寒くなってきた時期だったので、豚汁が人気だった。会場前から小学生が並び楽しみにしていたようだ。 移動動物園は、子ども達に人気で、リクガメや山羊等のたくさんの動物と触れ合っていた。低学年まではポニーに乗ることができ、笑顔がこぼれていた。	
	3月	わんぱく祭り	例年、母親クラブ・尚綱高校のボランティアの生徒の協力のもと、バザーやゲーム等を実施している。	コロナウィルス感染予防のため中止
(母地域ク組ラ織ブ活等動)	4月～1月	トランポリン教室	4歳から小学3年生を対象に、7月・9月・11月・1月の4回実施。時間は13時と14時からの募集人員は20人。 大きなトランポリンを使用し、講師により指導を受けた。家庭では難しいトランポリンは人気で、申込者も多い。教室では、遊びながらバランス感覚や体幹等の発達を促した。一つ一つの課題をクリアすることで、子ども達も達成感も味わうことができた。	
	10月	秋祭り(再掲)	文化祭を改めて秋祭りとして実施。母親クラブの協力もありバザーやゲーム、移動動物園を実施した。母親クラブは、豚汁の販売とバザーを交代で担当。子ども達は母親が販売をしているときは、父親等と一緒に参加していた。社会参加をしている母親の姿を子ども達が見る機会にもなった。	
	3月	わんぱく祭り(再掲)	例年、母親クラブ・尚綱高校のボランティアの生徒の協力のもと、バザーやゲーム等を実施している。 母親クラブは、バザーの販売等を担当している。	コロナウィルス感染予防のため中止

	開催月	事業名	活動内容	備考
児童館行事	毎月	お話し会	ボランティア2団体によるお話し会の実施 毎月1回づつ、年齢に応じてお話し会や絵本の読み聞かせ、ふれあい遊びに多くの参加者で賑わっている。 延べ参加者は367名	
	6月	防災イベント (親子で学ぶ防災術)	台風や大雨、地震などの災害に備えて防災士の方のお話しを聞き、いざという時に自分や家族、そして、地域を守る「防災」の知識と工夫を学びました。参加者33名	
	2月	豆まき	一部では節分の由来や紙芝居をし、二部で親子での豆まきの時に鬼が登場し、泣き叫ぶ子や逃げ回ることも大賑わい。 最後には鬼と仲良くなり一緒に記念撮影をして楽しい時間を過ごす。	
朝の活動	毎月	製作	季節に応じた製作物を行い親子で楽しく作ります。 内容としては、カレンダー、こいのぼり、七夕などの記念にのこるものです。	
	年 3・4回	季節の行事	七夕は短冊に願いをこめて笹に飾り、ハロウィン、クリスマスは、児童館、出張所、図書室、公民館を子どもたちが回りお菓子をもらう、クリスマスは、絵本や歌の後にサンタさんが登場し仲良くなったらプレゼントをもらう。 製作物をする場合は必ず由来や行事の始まりなどの話をしている。	
子育て支援	年2回	身体測定と 育児相談	東区役所保健子ども課の協力で実施しており、特に育児相談については、人数の制限を行うほど多く、悩める保護者が多い傾向がある。 気軽に相談できることで保護者にとってはありがたい機会です。	
	年1回	歯科相談	東区役所保健子ども課の協力で年1回実施しており、乳幼児の歯磨き指導や歯についての話をさせていただきます。 正しい磨き方や子どもが嫌がらない方法を指導させていただきます。	
	11月	交通安全教室	市役所の生活安全課の協力で毎年実施しており、命の大切さや交通マナーの再確認を親子で学ぶ大切な時間です。 実技を交え過去芝居、人形劇等、子どもに興味を持たせての学習です。 託麻児童館周辺は、交通量も多く国道や歩道が狭い道も多いので、大切な子どもの命を守る親としての心構えや方法の再確認になります。	
児童クラブ	各年7回	創作・絵画	個性あふれる作品になるように講師の指導で楽しく実施されます。 また、毎年学習発表会には完成した各作品を展示し多くの方に見ていただきます。 創作は小学1～3年生、絵画は小学3～6年生	
	年7回	運動	ホールにて、子どもたちが楽しめるような様々な運動を取り入れ、事故やケガがないように十分注意をし、実施していただきます。 内容的には、鉄棒、マット、跳び箱、ボール、など体幹を養う運動を取り入れて楽しく、真剣に行うます。	
特別行事	1月	人形劇	毎年、新作の人形劇を市内の劇団にて上演しています。 子どもたちに物語の楽しさや情緒あふれる豊かな心を持ち、少しでも考えることができるように実施しています。 参加者152名	
(母地域親ク組ラ織ブ活等動)	7月	たくま夏まつり	託麻6校区実行委員会主催で行われる夏まつりに児童館も託麻クラブの協力で毎年参加しています。パザーの出店や児童館でのゲームなど色々なコーナーで賑わっています 会員の協力で準備から片付けまで一日を楽しく過ごします。	
	12月	もちつき大会	託麻クラブと共催で実施 毎年、楽しみにしている親子が多く多数参加されます。 近年は餅つきを見たことがない、やったことがない親御さんも多いなか、親子、家族全員で参加されます。日頃の仕事や育児等でのストレスを晴らすように餅をつくお父さん、お母さん方。 つきたての餅は醤油、きな粉、砂糖などで美味しく食べます。 参加者87名	



令和元年度(2019年度) 秋津児童館 活動報告

	開催月	事業名	活動内容	備考
児童館行事	9月	敬老の日 秋津デイサービスセンター訪問	今年は、活動の中で作った子どもの手形で装飾した紙バックをお土産に渡した。このお土産渡して施設の方とふれあいあうことが子どもの楽しみの一つになる。 子ども達の「くまモンタッチ」の体操やふれあいタイムでは顔をほころばせて見てくださり、優しい雰囲気にもまれた。子どもたちには、ミニハンカチをお土産としていただき、子どもたちは大切に持って帰った。参加:6組(乳幼児6名・保護者6名)	毎年秋津デイサービスセンターへ、敬老の日に近い日に子どもと保護者と共に訪問している。
	10月	わんぱく うんどうかい	競技は、赤ちゃんから走ることができる子までそれぞれの発達段階に応じて楽しめるよう工夫した。平日は児童館に来れないお父さんの参加も多く、子どもたちだけでなく、保護者・兄弟、ボランティアの高校生も参加できる運動会となり、異年齢交流、ボランティアの受け入れの良い機会となった。参加:子ども44名、保護者48名、東稜高校ボランティア9名(合計101名)	対象:朝の活動参加者 会場:公民館ホール 日時:日曜日の午前中 協力:東稜高校の生徒
	1月	節分会	節分の話聞いたあと、鬼の絵に向かって、新聞紙で作った豆で、豆まきの練習を行った。 近づいてくる鬼に怖がりながらも、果敢に豆を投げ鬼退治をする子どもたち。鬼を見て泣いていた子どもが、最後には鬼に抱っこされて喜んだりしていた。 今年も「秋津ふるさと会」の方々に赤鬼・青鬼・福の神になっていただいた。 参加:7組(乳幼児7名・保護者7名)	対象:朝の活動参加者 協力:秋津ふるさと会 (地域の子どもたちに昔遊びを教える、史跡調査等の活動をされている会)
朝の活動	通年	わくわくタイム	1年間を通して集団遊びの楽しさを体験した。活動で使用するはさみやのりなどの使い方を「タンポポ」を作りながら経験し、また、制作あそびや、運動あそびを通じて友達作りができた。転居してこられた保護者も、この活動を通じて知り合いができ喜んでいた。 ・年間38回開催 延べ309組(幼児309名・保護者309名 合計618名)参加	・登録制 ・来年3歳になる子どもとその保護者対象。 ・毎週水・金曜日に開催
	通年	のびのびタイム	活動の前に、絵本の読み聞かせや、音楽に合わせて体操をし、新聞あそびや水遊び等低年齢児でも楽しめる内容を行った。 毎月開催している身体測定とカレンダーづくりでは、乳幼児用の身長計で図ることもできるため、親子手帳を持参し記録する方もいるほど喜ばれた。 カレンダー作りでは、季節に合わせた「こいのぼり」「くり」「トナカイ」等のテーマを子どもの手形や足形、丸シールや折り紙等で作った。家の壁に飾る等楽しみにされていた。 ・年間31回開催 延べ310組(幼児334名・保護者310名 合計644名)参加	・児童館の利用者はどなたでも参加可能。 ・0歳から参加可能 ・主に木曜日の10時30分～プレイルームにて開催。
子育て支援	通年	美和子ちゃんの 絵本読み聞かせ	お話ボランティアの先生による読み聞かせ。 申し込み不要。年齢で時間を分け、子どもの発達年齢に適した絵本の読み聞かせと、わらべ歌、指人形や親子ふれあい遊びなど様々な遊びを交えて、親子共に楽しんでいた。これを目的に来館される方も多く、その日に読んだ本を図書室で借りる等、絵本に親しむ土台作りとなった。・年間9回開催 延べ109組(乳幼児110名・保護者109名 合計219名)参加	・0・1歳児 10時半～ ・2歳以上児 11時～ 協力:お話ボランティア 湯川氏(20年以上児童館で読み聞かせをされている)
	5月	親子のコミュニ ケーション教室	専門講師より暑くなる時期に向けて、親子でできる紫外線対策を学んだ。家庭で使っている日焼け止めやスキンケア用品を持参してもらい、使い方について教えていただいた。より効果的な使い方を学べ、実践したいと保護者も大満足だった。また、男女の性別の差によるデリケートゾーンのケアの仕方の違いを人形を使って詳しい説明があり、特に母親から男の子の対応について詳しく教えてもらえてよかったと好評だった。男女のクラスに分けて2回開催。	参加:男の子クラス:12組(乳幼児13名・保護者12名) 女の子クラス:11組(乳幼児11名・保護者11名)
	11月	ベビーダンス	専門講師の指導で、社交ダンスをルーツとした赤ちゃんを抱っこして踊る世界初のダンスプログラムを楽しんだ。抱っこひもで赤ちゃんと一緒に楽しくリラックスした時間を過ごすことができた。先着10組で募集したが、18組の応募があり、0歳から親子でできる内容を求められていることが感じられた。参加:15組(乳幼児16名・保護者15名)	・首が座った3ヶ月から1歳半までの赤ちゃんと保護者対象。
児童クラブ	4月 ～8月	キッズフラダンス	専門講師による指導。 今年は講師から、「子どもだけでなく保護者にもステップと腰の動きを知ってほしい」とのことで、開校式の後、保護者も一緒に基本のステップと動きの指導を受けた。 子どもたちは、始めのうちはぎこちない動きだったが、回を重ねるごとに指先まで意識し、笑顔で優雅に踊れるようになり、夏祭りにフラダンスの衣装で着飾りステージ発表を行った。 参加:年少児～年長児:13名、小学生:13名	・10時～11時:小学生 ・11時～正午:年少(3歳児)～年長(5歳児)対象。
	4月 ～8月	運動あそび クラブ	運動遊びインストラクターによる指導。 素早く身体を動かすゲームなどで体を動かすことを楽しみ、マット運動、鉄棒、とびばこの技を磨いた。講師が、子ども一人ひとりのレベルに合わせて進めることで、その子の最大限の「できる」まで技を引き上げることができた。児童館夏祭りでステージ発表が終わると笑顔になり、講師と保護者が一緒に成長を喜ばれる姿が多く見られた。参加:19名	・午後1時半～午後3時半 ・年長(5歳児)～小学生対象。
	1月 ～2月	絵画造形クラブ	絵画・造形の講師による指導。3学年の募集だが、リピーターも多い。 絵の具などの置き場所、筆に含ませる水の調節の仕方など絵の具の使い方の基本を学んだ。 花瓶に飾られた花々を描いたり、工作では自然の木の枝を使ったピンナップボードを作った。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため6回中、2回中止。参加:12名	・午後2時～午後4時開催 ・小学1年生～3年生対象 ・材料費:一人600円
特別行事	8月	児童館夏祭り	まちづくりセンター全館にて、日曜日に開催し、地域の方の協力がある大規模なイベント。 東稜高校の生徒もボランティアとして前日準備から手伝ってくれ、当日は地域の方と共にくじ引きや綿菓子、ヨーヨー釣りなど運営してくれた。 ホールで児童クラブや公民館主催講座で練習してきた子どもたちの発表を行った。かわいらしさや頑張りにより多くの観客から拍手をたくさんもらい、子どもたちも達成感を感じることができた。 毎年、子ども達が楽しみにしている行事で、近隣校区からも多くの子どもたちが来てくれた。大人には、葦北大岩地区より新鮮野菜などの販売も好評で、リサイクルコーナーなども楽しみに周辺地域からも多くも来られる等、世代間交流の場となっている。 また、クリーンセンターからはごみ分別のクイズコーナーを設けていただき学びの場ともなった。 来場者合計:2095名	協力 ・秋津地域子育て応援クラブ ・東稜高校の生徒 ・食の応援団 ・葦北大岩地区 ・交通安全協会(駐車場整理) ・保護司会 ・東部クリーンセンター ・秋津小(駐車場として校庭を提供)
(母地域親ク組 織活等動)	2ヶ月 に1回	各校区 子育てサークル	主任児童員・民生児童員、校区保健師が主催している校区の子育てサークルに児童館職員も参加する。育児相談等連携を取りながら保護者の子育ての不安の相談等を受けた。 地域組織活動の啓発や、サークル活動中に座談会のようにリラックスして話ができるため、保護者への子育て支援を広げられる場となっている。 年間:7回(秋津・桜木・桜木東・若葉・東町・泉ヶ丘・健軍東 7校区へ参加)	地域組織活動「秋津地域子育て応援クラブ」各校区の子育てサークル出向く。 1年間に各校区1回程度。
	通年	子育て座談会	0歳～2歳の子どもを持つ方の参加が多かった。妊婦さんの参加もあった。 「秋津地域子育て応援クラブ」が参加し、民生員、主任児童員が雑談を交え、助言をすることで、保護者が話しやすい和やかな雰囲気になり、子どもの発達や子育てのことを、気軽に話すことができていたようだ。育児のことで、他の保護者も同じように悩んでいたことが分かり安心されることもあった。校区保健師との連携も取ることができ、地域の子育て支援には重要な存在。 年間:5回開催 延べ14組(乳幼児14名・保護者22名 合計36名)参加	・工作室で、10時半～11時半まで開催。 ・事前予約不要



令和元年度(2019年度) 東部児童館 活動報告

	開催月	事業名	活動内容	備考
児童館行事	毎月(8・3月を除く)	誕生会	朝の活動(ちゃいるどくらぶ)では8月と3月を除く毎月誕生月の子ども達に申し込みをしてもらい手作りの誕生カードとメダルを準備して参加者と一緒にお祝いをした。その季節のお話やゲームなど児童厚生員の考えたお祝いプログラムで毎回楽しい会を開催した。 子育て支援(こあらっこくらぶ)では年6回開催し、地域の主任児童員さんの協力を得ながら1、2、3歳のお誕生会を開催した。当日参加もOKで手作りカードのプレゼントは参加者にとっても喜ばれた。誕生会後はおしゃべり会とし情報交換や仲間作りの場を設けた。	【ちゃいるどくらぶ】登録制で満3・4歳を迎える幼児対象の親子活動 【こあらっこくらぶ】児童館の利用者なら、親子で参加できる活動(※2・3月は中止。)
	12月	クリスマス会	楽しい音楽会を開催した。子ども達は卵型のマラカスをもち音楽に合わせて音を鳴らしたり、体を左右に揺らしながら一緒に口をパクパクさせ、親子で触れ合いながら楽しむことができた。声楽家の方のゴスペルや独唱などを堪能することもでき新しい体験ができた。また、親子で歩きながら友達とのタッチを楽しんだり、体を動かすことで子ども達は飽きることなく40分間を楽しむことができた。終了後はお礼を言ってボランティアさんと握手を交わす姿がとてもかわいらしかった。参加者42世帯97名参加。	協力 音楽ボランティア(10名)
	1月	節分	鬼のお面作りと豆まきをする。簡単に作れるお面(0~2歳児向き)と親子で作るお面(3・4歳児向き)の2種類から選択し作ってもらった。個性豊かな表情のお面が出来上がるとラスカルクラブから豆まきの由来についてのお話を聞いた。ペープサートで分かりやすく子ども達もよく聞いていた。その後、お面をつけて鬼の的に新聞紙の豆を投げつけて親子で楽しんだ。そこへ公民館職員が扮する鬼が登場し怖さのあまり固まってしまった子、親の元へ逃げ抱っこされながら楽しむ子、泣く子など様々だが貴重な体験だった。鬼を退治するとみんな笑顔になり満足した様子だった。参加者31世帯79名参加	こあらっこ・ちゃいるど・ラスカルクラブ合同での開催。
朝の活動	6月2月	歯磨き指導	東区子ども保健課の協力で、年に3回程度の歯に関するお話と磨き方の指導。保護者からの悩み相談などを開催した。3歳という年齢の子どもたちなので保護者の方はとても熱心だった。 歯についてのお話は子ども達にもわかりやすい紙芝居なので食い入るように見ている。実際にハブラシを使っての磨き方指導では個々に合わせて指導があり、保護者の方も学びが多いようで、いろいろな質問などもあった。年2回で26世帯62人参加(012歳児向けは、子育て支援で、1回実施)	東区子ども保健課に栄養士の相談、離乳食相談会等を3回程度講師を依頼。(発達相談等に繋げる場合有) 東消防署と連携し救急法の指導等も実施。
	12月	交通安全教室	生活安全課の協力を得て道路の歩き方や信号の見方、チャイルドシートなどについてのお話を聞いたり、体験をした。頭ではわかっていることも実際訓練してみるとうまくできないことや省略してしまっていることなどの気づきに繋がった。特に自転車で来られる方にもヘルメットの大切さなどの話を聞かれ「早速購入した。」との報告もいただいた。お話はとても面白く子ども達も釘付けになり、親子での横断歩道の渡り方では子ども達も内容の理解が良くできていて驚かされた。11世帯28人の参加。	朝の活動には保育の無償化の影響からか登録者数が前年度の半分以下となり参加者が少ない日も多かったので活動によっては工作室でじっくりと取り組む活動も入れた。
	1月	お正月遊び	東部公民館の「ボランティアグループさくら」さんの協力で、お正月ならではの遊びを楽しむ会を催した。コマ・カルタ取り・福笑い・凧揚げ・お手玉のコーナーを設け親子で遊びを経験した。凧は折り紙で作る簡単なので全員が作って凧あげを楽しんだ。福笑いは目隠しをせずに行うがルールがわかりにくかった。色々な表情の顔ができて嬉しそうだった。カルタ取りは字を読むのが難しいと思えたが親子で教えあいながら楽しんだり、絵だけで分かって取る子がいて感心した。コマはひもで回すのは難しかったが、手で回すものは上手に回せていた。参加者9世帯20名参加	
子育て支援	6月9月 11月1月 3月	3B体操	講師による活動で年齢を0歳児対象・1.2歳児対象と年齢を絞り同じ年齢の子ども達が集まり保護者同士の仲間づくりを図った。毎回人気があり20~30組の利用があった。児童館の利用登録者は、指定した年齢であれば参加OKとしているので安心して参加できると喜ばれている。 3B(ボール・ベル・ベルトの3種類の道具)を使って体を動かしたり音楽に合わせて踊ったり、子ども達はもとより保護者の方達も一緒に体を動かすことで気分をリフレッシュできると好評だった。	子育て支援は0歳児・1歳児・2歳児ととても需要が高まり児童館のプレイルームにあふれるくらい参加されることも多い。年齢を区分することでより参加しやすいようだ。
	5月7月 10月12月 1月	わくわく運動遊び	講師による活動で年齢を0歳児対象・1.2歳児対象と年齢を絞ることで同じ年齢の子ども達が集まり保護者同士の仲間づくりを意識した。毎回人気があり20~40組の利用があった。 子どもの体の使い方の指導で保護者の方は子ども達にどのような言葉をかけたり、手助けができるかを楽しく学べるためとても好評。自分の子供の成長の様子もわかり何処を伸ばすとよいかなどのアドバイスももらえた。サーキット遊びではいろいろな物の組み合わせで運動の能力アップにつながったり順番を待つ事やルールを守るなどの基本的な生活習慣の学びもあり親子で十分楽しまれた。	
	10月	東部運動会	親子で参加の運動会を実施。事前申し込み制で0歳児5名1・2歳児20名3・4歳児20名と多くの申込があった。当日は3~4名の欠席があったが、当日参加したいとの申し出もあり総勢104名となった。見守りボランティアさんには多胎児家庭に応援していただきかけっこ・ハイハイ・お遊戯・親子技走等笑顔と歓声に包まれ楽しく過ごすことができた。父親や祖父母の参加もあり楽しい時間となった。	協力 ・ラスカルクラブ(6名) ・見守りボランティア(5名)
児童クラブ	5月~9月	スポーツクラブ	講師による指導。希望者がとても多く、1・2年生クラスと3年生以上のクラスの2つに分け各15名の募集。1・2年生は特に希望が多く講師と相談し、28名を受け入れた。ホールで行い無理なく7回活動し、ダンスをしたり鉄棒やとび箱、縄跳び等様々なことにチャレンジできた。その中でも最も大切な精神力(すぐあきらめない。自分のことは自分でする。困っている人を助けたり声をかけたりする。)を学びながら活動し、お互いに褒め合い、認め合う姿が見られ、リーダー的な意欲のある子も育ってきた。3年生以上はすぐ出来ないことあきらめることなく、体の使い方のコツを教えてもらい、できる事の喜びを味わうことで自信が付き何でも頑張る姿が見られ頼もしく思えた。	児童クラブは2講座ですが、小学生の単発講座としてクッキング系3回、スポーツ系3回、学習系3回程度計画している。
	10月~3月	アートクラブ	講師の指導で、親子で参加する陶芸やクリスマスケーキ作りなど毎回わくわくするような活動を行った。子ども達の自由な発想を大切に、個性を伸ばすようなアドバイスやヒントを与えられるので、子ども達はいつものびのびと作品作りに集中していた。特にクリスマスケーキ作りには保護者は子どもの発想にうなずいたり感嘆したりしながら子ども達の成長を喜んでおられた。材料費はかかるが色々な経験ができると保護者の方からも好評だった。	全6回の講座 ※3月のみコロナ感染予防の為中止。
行特事別	令和元年度(2020年度)はラスカルクラブやボランティアさんの協力を得ながら活動の中での行事を行っていった為、特別事業としての扱いをしなかった。			
(母地域 親組 ラ織 ブ活 等動)	9月	デコ巻き	講師の指導で、公民館の調理室でデコ巻き寿司を作った。 ペンギンの顔や花等3~4種類の巻き方を教えてもらった。見守りボランティアの協力で小さな子どもを抱えた保護者もしっかりと巻き寿司を作ることに集中できてよかった。 デコ巻きのポイント(酢飯にどんなものを混ぜて色を作るかまたどんな具材を使うか等)も多く学べ出来上がった作品に子ども達も大喜びだった。18世帯26人参加	協力 ・見守りボランティア(3名)
	7月9月 12月	手芸会	7月スワッグ、9月親子でデコパーズ教室、12月しめ縄づくりの3回開催。母親クラブ会員の方が交代で子どもの見守りを行いながら、保護者が教室に参加した。日頃から児童館と連携して活動しているので、子ども達は親元から離れて遊び、保護者は無理なく教室に参加できていた。 個性が光り世界にたった一つだけのオリジナルが完成し、完成した時の保護者の表情は誇らしげに見えた。講師からは同じ材料でも出来上がりは完全に違って素敵な作品ばかりだとのこと。毎回参加者も30人を超え、人気の活動となった。	
	7月 1月	子育て講演会 親子ふれあい遊び	年2回開催。ママパパ教室を利用し児童館のプレイルームで開催した。今年度は色彩インストラクター林章子先生による色彩生理学の視点と色彩の効果について話を聞き、色の様々な効果を学び、ストレスの発散方法や取り入れたい色など興味深く聞き入っていた。参加者26世帯53名 親子の触れ合いあそびは大津山先生による子育てのアドバイスや楽しい手作り玩具(紙トンボ・ピーピー笛・尺取虫の3種類)を作って楽しむことができた。話を聞いた保護者からは「子どもにいろんなことを押し付けている事に気づかされた。」との感想が寄せられた。参加者 20世帯41名	児童館と共同開催



令和元年度(2019年度) 西部児童館 活動報告

	開催月	事業名	活動内容	備考
児童館行事	毎月	お誕生日会	毎月、事前予約された子どもたちに手作りのかんむりと手形カードをプレゼントした。それぞれの季節にあわせたパネルシアター・大型紙しばい・マジックショー等を楽しんでもらい、来館者の皆さんでハッピーバースデーの歌を歌ってお祝いしました。毎回5、6組の親子の参加。	
	7月	紙すき体験	夏休みの小学生を対象に環境教育の一環として開催しました。最初に、熊本市環境センターの方の講話を聴き、資源には限りがあること、私たちができるリサイクルの大切さを楽しく学びました。その後、紙のリサイクルによる紙すきを体験しました。牛乳パックを煮詰めたものをミニサイズの紙すき道具を使用して、はがきサイズの紙にすきました。白色、ピンク色、グラデーションいろんのはがきが完成し、このはがきを使ってお便りを出すという子どももいました。参加者12名。	
	1月	豆まき会	朝の活動で事前に鬼のお面づくりをした後、当日、節分がどういふものかパネルシアターで学びました。豆まきの歌にのせて鬼の看板に豆をまく練習をした後、公民館職員が赤鬼・青鬼に扮して登場。怖がらずに豆まきする子どももいますがほとんどの子どもが大泣きでした。伝統文化を知る機会となりました。幼児12名、保護者11名の参加。	
朝の活動	6月	七夕飾り作り	地域の方から毎年大きな笹竹をいただきます。それぞれの願い事を書いた短冊や折紙、セロハン等で作成した飾りなどがたくさん集まり笹竹を埋めつくすほどでした。館内に飾った後に遊びに来たお友達も短冊を書いて飾ってもらっています。	
	9月	運動会	本番の前に大玉ころがしや 技走、ダンスの練習を積みました。親子で一緒に行う競技ばかりで、ふれあったり、楽しんだり、体をいっぱい動かして楽しい時間を過ごしました。幼稚園就学前の行事参加の良い機会となりました。幼児27名、小学生1名、保護者29名参加。	
	12月	クリスマス会	事前に親子で製作した三角帽子をかぶり気分を盛り上げました。クリスマスの歌を歌ったり、楽器遊び、サンタさんの紙しばいを観た後に、公民館職員がサンタクロースに扮して登場、プレゼントをもらって大喜びでした。最後にサンタさんと記念写真を撮りました。幼児16名、保護者14名参加。	
子育て支援	偶数月	ベビーマッサージ	乳児親子を対象に、ベビーオイルマッサージ資格者である地域のボランティアの方から指導を受けました。赤ちゃんたちは気持ちよさそうで、マッサージの途中から眠ってしまう赤ちゃんもいました。終了後、保護者の方々は、眠ってしまった赤ちゃんを起こさないようにゆっくりとくつろいでお話しされていました。乳児16名、保護者15名参加。	
	11月	乳幼児の栄養教室	「食べること」に関連した紙しばいを観た後、西区役所保健子ども課の栄養士から、「乳幼児の食事とおやつとの与え方」について講話をしてもらいました。おやつは食事の延長と考え回数を決めて与えること、おもちゃ等「なめる」行動はお口の発達に欠かせないためやめさせないこと等、食事だけでなく幅広く学ぶことができました。その後の個別相談では皆さん熱心に質問されていました。幼児5名、保護者5名参加。	
	1月	手洗い教室	「手の洗い方」について、プロジェクターを使用して講話をしてもらいました。人が頻繁に触れるところ(例 ドアノブ)にはいろいろな菌が附着していることが多いので、こまめな消毒が大切だと学びました。実際に蛍光クリームを手につけブラックライトをあてて確認した後、手洗いをし、再度ブラックライトをあてて洗い残しを目で見て確認しました。皆さんきれいに洗ったつもりでしたが、洗い残しがあり驚かされていました。上手な手洗い方法を手洗いの歌に合わせて6つのポーズで教えていただきました。幼児10名保護者10名参加。	
児童クラブ	5月～12月	アートクラブ	小学1年生から6年生の児童を対象に、月に一度、絵画や工作をテーマに沿って講師の指導を受け完成させ、その成果を秋祭り開催時展示して、来場者に披露しました。毎年定員を超える応募があり人気のクラブとなっています。定員14名参加。	
	5月～8月	キッズ体操	小学1年生から3年生の児童を対象に2グループに分かれて、月に二度、鉄棒・跳び箱・マット運動等体を動かすことの楽しさを学びながら運動のコツをつかむことを目的に講師の指導を受けました。できなかったことやこれまでしたことできなかったことに挑戦することで達成感を感じたり、少人数で指導を受けることのできる講座として、毎年定員を超える応募があります。	
	9月～10月	ヒップホップダンス	小学1年生から6年生の児童を対象に2グループに分かれて、毎回1時間ずつ全7回、講師の指導を受けます。ステップや振り付けを覚えて、最終回は秋祭りの来場者で埋めつくされる大ホールのステージで成果を発表します。たくさんの方の前で楽しく踊れたことは自信につながりよい経験になっていると思います。	
特別行事	10月	秋祭り	毎年、母親クラブメンバーによる手作り品や遊休品のバザー、食バザーで安価でよいものに出会ったり、児童クラブ・アートクラブにて製作した作品展示やヒップホップダンスクラブの成果をステージで発表することで児童館が行っている活動をアピールすることができる場となっています。例年好評なふれあい移動動物園やゲーム、くじ引きなど楽しい催しを行いましたが、2019年は雨模様で天候に恵まれず昨年より少ない入場者数でした。1,561名来場。	
(母地域親ク組織ラ活等動)	7月	スイカ割り	プール遊びの後、児童館のウッドデッキにてスイカ割り大会が行われました。夏休み期間中の親子が参加され、子どもたちは目隠しをし、おもちゃのピコピコハンマーを持ちスイカめがけて打ち下ろします。ピコピコ音が鳴れば命中です。保護者の方々は、目隠しをし2回まわり竹刀を持ってみんなの誘導でスイカまで行き打ち下ろしました。なかなか割れませんでした。ヒビの入ったスイカを切り分けてみんなでスイカと夏を堪能しました。幼児13名、小学生1名、保護者10名参加。	
	10月	ハロウィン会	事前に親子で製作したハロウィンの衣装に身を包み、西区役所の各課をまわります。「トリック・オア・トリート」と言いながら各課に行くと、お菓子を準備して待っていてくれました。課によっては趣向を凝らした扮装をして出迎えてくれるところもあり恒例行事となっています。子どもたちのかわいい姿に来庁されていた市民の方も笑顔でした。児童館のお部屋もハロウィンの飾りつけをしました。幼児18名、大人17名参加。	
	5月11月	さつま芋畑を作ろう お芋の苗植え	5月に児童館の外広場にお芋畑を耕し、苗植えをしさつま芋を育てました。実ったお芋を秋に収穫しました。収穫は楽しく、お友達と大きさを比べたり、泥んこまみれになっても気にすることなく楽しんでいました。お芋はおいしいおやつに調理され、皆さん満足でした。参加者のべ2回34名。	



令和元年度(2019年度) 花園児童館 活動報告

	開催月	事業名	活動内容	備考
児童館行事	8月	水鉄砲バトル対決	小学生も水鉄砲で遊ぶ機会を作ってほしいという保護者からの要望により、今年度新たに始めた夏休みイベント。チーム対抗戦で、3種のゲーム(水上のカップをしずめる撃沈ゲーム/木等に下がっている的を狙う当てゲーム/風船に薄い紙をつけたものを腰につけ撃ち落としあう水鉄砲バトル)を楽しんだ。この中でも特に水鉄砲バトルが楽しかったようで、チームメンバーを変えたり、男女で対決したりと繰り返し楽しんだ。1時間程度だったが、十分に楽しめたようで、「また来年もしたい!」、「今度は準備から一緒にします」という積極的な声もありうれしかった。	参加者数 子ども10名 大人5名 (定員20組だが、前日までのキャンセルが多数)
	10月	ミニミニ運動会	入場から始まり、体操、ハイハイ競争、かけっこ、技巧走、玉入れ、つなひきなど盛りだくさんで2時間半ほどのイベント。参加者全員が競技に参加できるよう、祖父母参加の競技や保護者だけが出場できる競技も盛り込んだ。運動会のサポーター活動は、楽しくチャレンジクラブ(児童クラブ)の活動の1つで、競技への参加の外、ゴールテープ持ちや景品渡しなどの手伝いを頑張ってもらった。準備から片づけまで保護者の協力もあり、みんなで作り上げる会となった。競技例…技巧走(3歳〜)…ロディ(馬の乗り物)に乗って進み、段ボールパズルを組み立て、平均台渡り、人探し等	参加者数 乳幼児41名 小学生16名 大人74名 合計131名
	1月	鬼のお面づくり & 豆まき会	鬼のお面は、顔を描いて髪の毛(薄い紙)を貼りつけるだけの簡単なものにしたため、赤ちゃん連れの親子でも無理なく作れたようだった。体操『鬼のパンツ』を張り切って踊り、やる気満々の子どもたち。新聞紙の豆を持ったところで、大太鼓の響きとともに赤鬼と青鬼の登場。びっくりして固まる子、泣きわめく子、泣きながら立ち向かう子など反応は様々。鬼が退散して落ち着いたところで、『鬼はもう児童館には来ない』と伝えると心底安心した様子だった。鬼役は花園の自治会にご協力いただいた。	参加者数 乳幼児38名 大人38名 合計76名
朝の活動	6月	小麦粉フィンガーペインティング	小麦粉と水を火にかけて練り、のり状にしたもので遊ぶ。児童館だよりを見て楽しみにされていた方が多かった。他のおもちゃで遊んでいた子も、のりを見せ、目の前で色づけ(食紅使用)してみせると興味津々で児童厚生員のもとに集まっていた。1枚ずつ配ったポスターの上に、3色ののりを少量乗せてあげ、自由に感触を楽しんだ。指でつついてみるころからスタートし、慣れたら手のひらを使って延ばしたり、絵を描いたり、腕も使いポスターいっぱい広げたりと楽しんでいた。3才前後の子は夢中になり、時間いっぱい楽しんだ。※小麦粉アレルギーに十分注意した	参加者数 乳幼児23名 大人18名 合計41名
	9月	ふれあい音楽あそび	赤ちゃん連れでも楽しめることから、ここ数年人気の活動。初参加の親子も楽しめるよう、進め方に配慮して行った。絵本や手遊び、ペープサートで親子の心をほぐし、音楽に合わせて体を揺らしたり、歩いたりする。場に慣れてきたところで、2・3組のグループになり自己紹介を行った。予想以上に自己紹介の時間が盛り上がり、グループを変えて4回繰り返した。楽器あそびやくまモンのダンスも踊り、もりだくさんの1時間となった。お母さん同士が仲良くなるきっかけづくりになったようで大変喜ばれた。	参加者数 乳幼児26名 大人28名 合計54名
	1月	お正月あそび(福笑い)	年の初めに行っているお正月あそび。例年の牛乳パックのこま作りから趣向を変え、福笑いに挑戦。最初に動物の福笑いから始めた。音楽に合わせて歌いながら手本を見せると興味津々の子どもたち。なじみのある動物ばかりで、特に2歳の子たちが喜んで遊んでいた。次にひよっとこの福笑い。にやりとした口や大きな鼻、りりしいまゆ毛や円らな瞳など様々なパーツを用意。こちらは特に3歳の子たちに人気で、眉毛を鼻にしたり、目が1個だったり、想像力あふれるユーモアな作品に仕上がりと、親子で大笑いし、1年の始まりにふさわしい活動となった。持ち帰りできる手作り福笑いをお土産にし、家庭で繰り返し遊んでますという声も聞かれた。	参加者数 乳幼児8名 大人7名 合計15名
子育て支援	11月	ピカピカ歯磨き教室	西区保健子ども課の歯科衛生士による歯磨き指導。児童館プレイルームの一角にジョイントマットを敷き、講師を囲むようにして座る。歯がまだ生えていない子から、10本以上生えている子まで幅広く参加。歯ブラシや歯磨き粉の選び方や虫歯予防のポイントなどのお話のあと、歯みがきの実演指導があった。2歳の子に見本になってもらい、歯みがきするときの姿勢や歯を磨くときのポイントなどを実演しながら教えてもらい、勉強になった。子育てはとサポートーに見守りに来てもらったことで、保護者もゆっくりと話が聞けたようだった。	参加者数 乳児5名 幼児6名 大人11名 合計22名
	9月	消火器を使ってみよう～防災訓練～	普段行っている避難訓練からスタート。島崎出張署の消防士に見てもらい訓練の講評と防災に関するお話。火災の原因についての話や、電気コードの断線による発火に注意すること、小さい子は誤飲に注意すること、大きくなったら火遊びに注意など大変ためになるお話だった。保護者も熱心に聞かれていた。児童館のひろ場での消火器(水入り)での消火体験もほとんどの参加者が体験できた。消防車両の見学もあり子どもたちも大満足だった。	参加者数 乳幼児15名 大人13名 合計28名
	6月	トイレトレーニング講座	元保育士による講話。夏にトイレトレーニング(トイレ)を始められるよう6月に開催。2才前後の子の保護者を中心に申し込みがあった。講話内容は、トイレの始め方、声掛けの仕方、親の心構えなど。講話の後は、質疑応答。参加者の前で質疑応答することで、みんなで共有でき、同じような悩みを抱えているということがわかり保護者の方も安心されたようだった。参加された方の多くが、『楽しんで頑張りたい』という前向きな感想を持たれた(事後アンケートより)。保護者の背中を後押しするいい機会になったようだった。キャンセル待ちが出るほど人気だった。	参加者数 乳幼児16名 大人15名 合計31名
児童クラブ	5月～8月 9月～12月	楽しくチャレンジクラブ	子ども達だけで様々なことにチャレンジすることを目的としている。料理教室、スライム作りやトランポリン教室など子どもたちに大人気の活動の外、乳幼児の運動会のお手伝いも活動の1つとしている。リーダーシップをとる子、周りを見て自分の次の行動を考える子、(飾りつけなど)センスを発揮する子など様々で、一緒に活動していて興味深かった。活動内容によって、いつもが控えめな子が得意分野で本領発揮したり、下の学年の子のお世話をしているのを見かけることもあり、子どもたち一人一人の新たな面を発見できるいい機会にもなった。保護者にも好評で、兄弟やお友達同士での申込みや、リピーターも多い。	対象 小1～3年生
	6月	絵画クラブ	講師の先生とともにテーマに沿って自由に絵を描いた。1回目は『わたしのかお』、2回目は『海の中の生き物』。絵を描くことが好きな子が集まるため、1時間しっかり描くことに集中していた。終了後、描いた作品を貼りだし、保護者の方にわが子の作品を当ててもらおうのも楽しみの1つ(ほぼ100%の確率で正解していた)児童館の夏祭り(子どもフェスタ)でも作品を展示し、来館者に見てもらおう機会を設けた。	対象 小学校生 ・全2回コース ・低学年が多い
特別行事	7月	子どもフェスタ	夏休み期間中に行う花園公民館・児童館合同の夏祭り。開催時間は13:00～16:00の3時間。準備・運営・片づけまで千原台高校のボランティアや母親クラブの方達の協力もあった。部屋ごとに内容を変えており、児童館は簡単な製作(スライム作りやぶんぶんごまなど)、公民館1階は作品展示やヨーヨーつりや食べ物コーナー、ホールは紙飛行機やストローとんぼなどを製作し、飛ばして遊べるようにスペースを広く設けた。和室に授乳やおむつ替えスペースを設けたことで、赤ちゃん連れの方も休憩しながら、ゆったりと回れたようだった。千原台高校のボランティアには、製作補助やスーパーボールすくい等の売り場を担当してもらった。小さい子どもに優しく接する姿、一生懸命に頑張る姿が印象的で、保護者の方や協力団体からも大好評だった。	参加者数 延べ1400人
(母地域 親組 織 活 等 動 )	11月	バーベキュー in 石神山公園	11月の日曜日に開催。平日は、母親と子どもの参加イベントが多く、父親同士の交流の機会は少ないため、家族ぐるみでの交流を深める目的で実施。機材や食材などは業者に依頼し、飲み物やおにぎりなどは各自で準備した。初対面の父親も、準備・片づけなど共同作業を行う中で打ち解け親睦を深めていた。外の解放感から、普段あまり交流のない方同士でお話ができたと、大変喜ばれた。	参加者数 子ども16名 大人15名 合計31名 (内父親4名)
	12月	ハッピークリスマス会 出し物	児童館イベント『ハッピークリスマス会』で、母親クラブが劇『大きなカブ』と母親クラブの希望でハンドベルも行った。ハンドベル『キラキラ星』と『もろびとこぞりて』でスタート。きれいな音色に癒された。『大きなカブ』の劇は、当初動作とセリフのみの予定が、練習を進めるうち会員から歌や伴奏をつける等のアイデアがたくさん出た。動物以外にミッキー等も登場し、最後は参加していた全員でカブを引っ張り大いに盛り上がった。子ども同伴の練習は容易ではなかったが、工夫して繰り返し練習されていた(計5回)。練習から本番まで会員が楽しみながら生き生きとされていたのが印象的だった。	参加者数 乳幼児29名 大人34名 合計63名 (内、出し物は7組の親子)
	6月	親子で簡単おやつづくり	2才前後の子と保護者が対象。内容はコーンキャベツとアップルケーキ。子どもたちは自らエプロンをつけて大張り切り。キャベツをちぎる、粉を混ぜるなど簡単な作業を頑張りました。家庭ではやりたくてもなかなかできない親子クッキングは、保護者に大変喜ばれた。調理後は、待ちに待った試食会。自分で作った料理はいつも以上に美味しく感じられたようで、あっという間に完食していた。子どもを見守る係、片づけする係と自然に役割を分担し、最後まで和気あいあいとした雰囲気の中終了した。	参加者 幼児13名 大人11名 合計24名



	開催月	事業名	活動内容	備考
児童館行事	12月	クリスマス会	児童館主催で30組の募集を行った。 毎年参加申込みが多い。担当者にサンタクロースになってもらった。もこもこクラブの役員で、人形劇があったり歌や踊りを行い、最後は各家庭で準備したプレゼントをサンタクロースから渡してもらった。子ども達の笑顔がこぼれる1日だった。	
	2月	バレンタインのお菓子づくり	2月に小学生を対象とした人気のお菓子づくりを行った。 藤本尚子さんを講師に迎え、低学年は親子で、高学年は子どもたちだけで参加した。子どもらしいデコレーションで、かわいいお菓子がたくさんできていた。人にあげたり、自分で食べたり、作る楽しさを経験できた1日だった。	
	2月	豆まき会	今年は赤鬼・青鬼役に元公民館職員の協力があった。 子ども達は自分で作った鬼のお面をかぶり、新聞紙で作った豆を鬼めがけて投げつけた。泣き叫ぶ子どもが多いが、保護者はその様子を見て大笑いし写真に収めていた。最後は泣きながらも鬼と一緒に写真を撮っていた。	
朝の活動	7月	ベビーイングリッシュ	小林真理子さんを講師に迎え、今年度初めて実施した。1歳(10時~)2.3歳(11時~)各10組の参加があった。英語の音楽をかけたり、絵カードを使い興味を持たせ、子ども達も楽しそうに英語に触れていた。乳幼児の保護者も熱心に参加された。	
	11月	ミニミニサーキット	プレイルームに、とび箱、鉄棒、すべり台、フープを並べ、親が手を握り、飛んだりくぐったり、乗り越えたりしていく。とび箱の上にマットをのせ、危険のない様に配慮した。身体を動かす楽しさから、自然と笑顔がこぼれ、何度もくり返し行っていた。	
	毎月	カレンダーづくり	毎月、季節に応じたカレンダーづくりを行った。毎回10組ぐらいの参加があった。低年齢の子ども達なので、児童館で材料準備をしておき、糊はり、シールはり、クレヨン描き程度の内容にしている。親子で楽しそうに製作し、でき上りに満足していた。	
子育て支援	5月	栄養士さんの話し	南区役所の栄養士から、離乳食や食べ物の好き嫌いを改善するアドバイス、栄養に関する話をしてもらった。簡単に作れるおやつメニューも教えてもらい、心配や不安が軽くなり、保護者の安心する顔が見られた。	
	6月	トイレトレーニング	藤井秀代さんを講師に迎え、20組の参加があった。おむつ外しはどのお母さん達も悩まれているので、すぐ予約でいっぱいになった。質問にも一つ一つ納得がいくように個人的な悩みにも答えてくださり、良い話が聞けたという声がたくさん聞かれた。	
	9月	育児相談 身体測定	南区役所から保健師に来館し、日頃家庭では測れない身長・体重を測り、子どものカウプ指数を算出した。その後、一人一人の成長を聞いたり子育て相談を行った。年に1回しかないのに、たくさんの親子の参加があった。	
児童クラブ	6月~12月	絵画・造形	図工集会室で、10時~12時まで実施。小学1年生~4年生が対象。講師は大木友美先生。材料費は、全7回で3,100円リピータも多かった。学校では体験しない作品を作ったり描いたりし、芸術的仕上がりに子ども達も満足していた。	
	6月~1月	硬筆	図工集会室で、10時~12時まで実施。小学1年生~6年生が対象。講師は吉仲尚美先生。材料費は全8回で1,000円。鉛筆の握り方から、字の筆順まで基礎から指導があった。子ども達も、きれいな字で書けるようになった作品を喜んでいた。	
行 特 事 別	特別行事としては、実施せず			
(母 地 域 親 組 織 活 動 等)	5月	新幹線ハイク	会員の親睦を深めるのが目的で、新幹線に乗り、新八代駅まで行った。近くのがめさん公園で、お弁当を食べ、遊具で遊んで、帰りは普通列車で熊本へ帰った。親子で交流も深まり、楽しいイベントだった。	
	8月	もこもこマルシェ	遊休品や衣類を中心にリサイクルバザーを行った。食バザーや、子どもが喜ぶおもちゃ釣りやスーパーボールすくい等のゲームも用意した。地域の親子や子ども達がたくさん集まり、にぎやかなイベントだった。	
	10月	わいわい運動会	もこもこクラブと児童館が合同で実施。プログラムは児童館で考え、お土産等は役員会を開いて一緒に考えた。一般の親子も参加し、公民館ホールはたくさんの方が集まり、親も子も張り切って走り回り、楽しくてたまらない様子だった。	

	開催月	事業名	活動内容	備考
児童館行事	9月	リ・ガラスアートでプレゼントづくり	敬老の日のプレゼントづくりを兼ねて実施。最初は環境問題についてのお話がありその後アート作り。廃材を利用し砂のように細かく砕いた色とりどりのガラスを使って絵をつくりました。熊本県環境センター「動く環境教室」を利用	
	10月	いもほり	就園前の幼児と保護者で熊本農業高校へ芋ほり遠足に出かけた。土の中からでてくるお芋に歓声を上げ、親子で芋ほりを楽しんだ。高校生とのふれあひも楽しみ、秋の一日を満喫した。	
	1月	豆まき会	季節の行事の一環として母親クラブ(る・べべ)の皆さんの協力も得ながら節分のみまきを行った。鬼に扮した公民館職員を怖がり泣く子もいたが、豆を投げつけ追い払い楽しいひとときを過ごした。	
朝の活動	4月	こいのぼりをつくろう	色の付いたビニール袋に手形や紙をはって大きなこいのぼりを作成した。晴天のなか風にそよぎ勢いよく泳ぐ姿は壮観で、子どもたちも大喜びであった。	
	11月	落ち葉拾いでかけよう	隣接する公園に親子で紅葉した葉っぱやドングリを拾いに出かけ、季節感ある秋の一日を楽しんだ。	
	2月	お別れ会 記念品づくり	朝の活動に参加されていた親子に紙粘土で記念品を作成してもらう。手型作り、色付けを行い、お別れ会の記念品とする。(お別れ会は新型コロナウイルス感染拡大のため中止)	
子育て支援	6月 10月	歯科相談会・栄養相談会	南区保健子ども課の協力を得て実施した。歯科衛生士による講話及び歯磨き指導による歯磨きの習慣づけと管理栄養士による乳幼児の食事指導や相談を開催した。	
	毎月 1回	おはなし会	毎月1回おはなしボランティアの方に来ていただき、絵本の読み聞かせを楽しんだ。パネルシアターや手遊びもあり、親子で楽しいひとときを過ごした。	
	7月 9月 11月 12月 2月	子育てサロン	年4回子育てほっとサポーターの先生と保育士さんに来ていただき、育児相談や情報交換などを行った。子どもたちの成長を共に喜び合う場となりました。	
児童クラブ	4月 ~12月	絵画造形クラブ	手指を使い造形活動をすることで知覚、触覚的な発達を促すとともに、創造性や情操の涵養に資する。32年続く人気のクラブ。	
	4月~ 8月 9月~ 12月	卓球クラブ 体操クラブ	楽しく身体を動かすことで児童の心身の健全な育成に寄与する。対象は小学生 定員は各16名、各年7回実施	
特別行事	7月	夏まつり	第32回夏まつりをる・べべと共催で実施。キッズダンスやバザー、おはなし会のほかRDチャレンジなどのニュースポーツを楽しみ、また、かき氷やわたがしなどの出店もあり、延べ1,500人以上の来客があり、大盛況だった。熊本農業高校生徒にボランティアでご協力していただいた。	
	10月	うんどう会	これまでの練習の成果を発揮。かけっこ、技走、玉入れ、体操など、いっぱい体を動かし、楽しいひと時を過ごした。	
	12月	クリスマス会	年の瀬も押し寄せまったクリスマスシーズンに南部児童館でも楽しいクリスマス会を実施した。サンタさんがバルーンアートを披露したり、みんなにプレゼントを配ったりした。	
(母地域親グループ活動)	10月	ミルク牧場へ行こう	阿蘇ミルク牧場へ出かけ、牧場内散策やヤギレースへの参加を親子で楽しんだ。	
	12月	もちつき	日本古来の風習であるもちつきを、児童、保護者、公民館職員とともに体験した。行事にあたっては杵、臼などの洗浄・消毒により衛生面に気を配りながら実施した。また、食べるにあたっては、喉に詰まらせないよう保護者の見まもりのもとに実施した。	
	1月	マザーズフェスティバル	担当館であったため、母親クラブにおいて内容を検討のうえ実施した。「すくすくキッズ&ママリフレッシュ」(高戸里美先生)や「メタボマンのバルーンショー」また、バザー等を開催し盛況のうちに終了することができた。参加者92人	



令和元年度(2019年度) 清水児童館 活動報告

	開催月	事業名	活動内容	備考
児童館行事	10月	運動会	事前申し込み制で行った。当日は、祖父母の参加もあり、16組の申し込みで、総勢43人参加。「アンパンマン」の曲に合わせた入場行進で始まり、体操、かけっこ、玉入れ、親子競技を行った。最後に、「アンパンマンメダル」を受け取り、記念撮影をされていた。 運動会を通して、子どもたちの心身の成長を見る良い機会になったのではないかなと思う。保護者の方に、前日の準備と、当日の運営の手伝いをしていただき、スムーズに進行した。	
	12月	クリスマス会	事前申し込み制で、30組61人で開催。最初に、職員によるハンドベル演奏、手遊び、ペープサートを親子で視聴。その後、シャンシャンという鈴の音に合わせて、まちづくり班と公民館職員の、サンタとトナカイが登場すると、保護者からは歓声が上がったが、子どもたちは何か分からないような表情になり、保護者にしがみつくと子どももいた。それでも、最後にサンタからプレゼントを受け取る時は、手を伸ばし自分で受け取り、各家庭で写真撮影をしていた。	
	1月	豆まき会	朝の活動「きらきらタイム」で事前に鬼の面を作り、当日はそのお面をかぶって参加した。作っていない乳幼児には、家にある物をかぶって参加されるよう、事前に掲示したり、説明した。当日は、親子62名の参加があった。 はじめに、節分の由来の話を聞き、その後、鬼が出てくる曲の遊戯をし、新聞紙を使っての豆まきをしたタイミングで、鬼の衣装をつけた公民館職員が登場すると、大声で泣き出す子も出て、豆をまくどころではなくなっていた。最後に児童館職員が扮装した福の神が登場し、鬼がいなくなると子どもたちの表情も落ち着いてきた。保護者の方は、子どもが見せる表情やしぐさも可愛く感じられ、写真に収められていた。	
朝の活動	5月	しゃぼん玉遊び	天気にも恵まれ、児童館前の広場に出て行く。自分で吹ける子は、容器をもって何回も吹いて楽しみ、小さい子は、できたしゃぼん玉を手で触ってみようと手を伸ばしたり、目で追ったりしていた。遊びの様子はFacebookに掲載した。	
	7月	七夕会	笹竹1本を児童館内に準備した。当日は、職員によるハンドベル演奏でのオープニングの後、短冊3つに願い事を書いてもらい、書き終わったところより、笹竹の好きな所に結びつけてもらった。飾り付けが終わったら、館内に危なくないようにサークルをしてから、笹を立てた。 その後、しばらくの間立てておき、遊びに来た小学生にも願い事が自由に書けるよう準備しておき、最後にはみんなの願い事でいっぱいになった。	
	毎日1回	月の壁面づくり	月末に、次の月の壁面装飾を親子で作る。制作内容は、職員が考え準備した。 当日は図工集会室を使用し、絵を描いたり、シールを貼ったり、手形を押したりしてもらった。出来上がった作品は、児童館内プレイルーム壁面に一ヶ月ほど飾り、その後、制作した親子に返却した。 作品を、子どもの作品として残したいと思う方もいて、同じ方が何度も参加されていた。	
子育て支援	6月	救急講習会 (AED取扱い含む)	講師を清水消防署(清水児童館隣)に依頼。講義の後に、人形を利用した実技講習会を行った。7組の参加者だったので、全員の方が、心臓マッサージのやり方とAEDの使い方の実技、指導を受けることができた。特に、乳児の人形を使った心臓マッサージは、みなさんマッサージをする位置や、力の入れ方、使う指などを質問されていた。	
	奇数月	ベビーマッサージ	年6回の講習会を、外部講師の方によりボランティアで実施。 毎回、開催を案内するお便りを掲示すると、直ぐにいっぱいになり、キャンセル待ちが出た。 0歳児対象で、マッサージをしながらお母さんと乳児のふれあいが行われ、ゆったりとした時間をすごされていた。気持ちよさの為かマッサージをしてもらいながら寝てしまう乳児もいた。	2月に予定していた年度の最終回は「コロナウイルス感染拡大防止対策」の為中止。
	毎月1回	身体測定	毎月1回実施。自由参加で、職員の手遊びやお話の後、身長計2台(立式・寝式)、体重計2台(立式・寝式)を設置。どの計器を使用するかは保護者の方に選んでもらった。 測定を始めると、計器に乗るのを嫌がったり、じっとしていなかったりして、保護者が困ってしまう場面もあるが、職員が手伝いながら行った。測定が終わると、結果が書かれたカードを受け取り、先月の結果と比較し成長を楽しむ姿があった。	体重計は、不具合があったため、年度内に新たに購入した。
児童クラブ	7月～11月	ヒップホップダンス	FunFitから講師を迎え、全土曜日・10回で開催。対象学年が1年生から6年生までと幅広く、男女関係なく参加できるため、昨年に続いて受講しているという児童もいた。 はじめは、曲に合わせての動きにからだがついていかず、つまらなそうにしていた児童もいたが、回を重ねていくと段々形が出来上がり、最終回は「市民のつどい」で公民館のホールに立ち、オープニングを飾るダンスを披露することができた。 終了後は講師の先生といつまでもおしゃべりをして、名残惜しそうにしていた。	
	6月～7月	絵画・造形クラブ	講師を大木友美先生にお願いし、日曜日の午後より全4回実施。対象は1年生から6年生まで。 内容は「クレヨン、色鉛筆、絵具、紙粘土」と、毎回使用する画材変えて実施。2時間では足りない時もあったが、出来上がった作品は、迎えに来た保護者に見せていた。 丁度夏休みとも重なり「夏休みの作品」として活用されたところもあったようだ。	
	1月～2月	体操クラブ	今回は申し込み者が多く、人気の高さを感じた。 「鉄棒・マット運動」が中心で、握り方、手の着き方、からだの使い方など、ひとり一人が助言を受けていた。最後の方には、逆上がりができるようになったり、うまくマットの上で回れるようになったりしていた。そのことが嬉しいのか、終了後も、児童館広場の鉄棒で保護者に逆上がりを披露する姿があった。	最終回で、子どもたちの頑張りを保護者に披露する予定は、「コロナウイルス感染拡大防止対策」のため中止
行特事別	特別行事としては、実施せず			
(母地域 親組 クラブ 等 活動)	10月	ハロウィンの 仮装パレード	会員が親子で参加、時間前に児童館に集まった。 子どもたちはハロウィン用の衣装(マント、カチューシャ、上着など)を着たり、児童館で着替えたりして準備をし、総合出張所・公民館へ移動し「ハッピーハロウィン!」と言いながら、抱っこされたり、手をつないだりして館内を回った。子どもたちは恥ずかしそうにしていたが、泣く子はいなかった。最後は、ハロウィン模様で包装されたお菓子をもらい嬉しそうであった。	
	12月	クリスマス 大掃除	年末になり、大掃除の手伝いとして、児童館から母親クラブで「おもちゃの消毒」と「クリスマスツリー飾り」を行った。消毒液と新しい布で、子どもと一緒に遊びながら、日頃使っているおもちゃを一つ一つきれいに拭き上げた。丁度遊びに来ていた会員以外の方も手伝いに加わり一緒に行っていた。クリスマスツリーはオーナメントを親子で好きな所に下げ、最後に電飾のスイッチを入れ出来上がりをみんなで楽しんだ。	
	2月	人形劇	「人形劇団ひまわり」に、子ども支援課の事業「乳幼児ママ・パパ教室」を利用して依頼した。 家族みんなで参加され、総勢81名であった。盛りだくさんの内容で「ブラックシアター・人形劇・歌・ペープサート」などが上演された。歌の「パプリカ」は、知っていた子どももいたので、一緒に口ずさみ楽しんでいた。乳児さんは少し飽きて動きまわる子もいたが、お話が分かる子は段々と前に寄ってきて興味津々で、いろんなものを触ろうとしていた。	



令和元年度(2019年度) 龍田児童館 活動報告

	開催月	事業名	活動内容	備考
児童館行事	6月 9月 12月 3月	誕生会	家庭で子育て中の親子を対象に、1年を4回に分けてひとつ大きくなることをお祝いした。手作りカードやメダルを準備しておき、申し出のあった保護者に命名の紙と誕生カードを渡し、メッセージを書き込んで当日持って来てもらうようにした。参加しているひとりひとりを紹介して特別な時間になるよう出し物、お話など毎回工夫を凝らした。当日遊びに来ていたお友だちからも拍手で祝ってもらい一緒に楽しんだ。飛び入り参加も歓迎し沢山の人達の中で誕生日を祝った。	
	7月	uvストラップを作ろう	夏休み中の小学生に特化した物とを考え、初めて実施。 熊本県環境センター講師より指導していただいた。希望者が多かった。小さな作業ではあったが、すぐに出来る児童、しっかり考えて色使いや形にこだわっている児童、各々の個性も出た作品作りとなった。ストラップを光にかざすと色が変化するので、ロタに話したり、なんでかなと疑問を抱いたり興味を持って楽しんでいた。	
	1月	豆まき会	たんぼぼクラブと一緒にする児童館行事で、毎年参加申し込みが多い。センター長や公民館職員に福の神や鬼役をお願いした。新聞紙の豆を大きな声で「鬼は外～、福は内～!」と叫んで鬼めがけて投げつけた。泣く子どももいるが、保護者はその様子をほほえましく写真に収める場面も見られた。自分自身が子ども時代に経験した伝統行事を子どもにも体験させたいと感じているようだった。たんぼぼクラブのお土産には、アレルギーの子どもに配慮し豆代わりの小さなお菓子を選んだ。	
朝の活動	5月 10月 11月	公園へ行こう	児童館の立地を活かし、隣接する武蔵塚公園への戸外活動を楽しんだ。春にはペットボトルに鈴を入れ犬などの絵を描いてヒモを付けた『ペット』をガラガラと引き連れて出かけた。 夏には小川で水遊びも出来る。秋にはどんぐり拾い、落ち葉集め。集めた物を入れるカゴも新聞紙で手作りした物を持って行った。集める楽しさや集めた物で作品作りも楽しんだ。	
	7月 9月	プール遊び	児童館前の中庭でビニールプール2個に水が温まるよう早目に準備をし、子どもが水を飲んでも人体に影響のない食品にも使われる消毒液を使用した。日除けにはテントを用意した。遊びに夢中になって陽に当たり過ぎない様、時間を決めて遊んだ。金魚すくい、水鉄砲、じょうろ遊び、楽しむ子どもの様子を見て暑いのを忘れ保護者も楽しんでいた。	
	毎月	親子ふれあい遊び	音楽を取り入れて、歌ったりスキンシップしたり親子で向き合う時間を楽しんでもらう。目と目を合わせ声をかけ改めて子どもはかわいい存在と感じてもらいたい。児童館で手遊びやふれあい遊びを覚えてもらい家庭を持ち帰ってもらった。どうやって子どもと遊んだらよいかわからない保護者へのサポートになった。(つるまき体操、親子でメリーゴーランド、ハイ・イ・ハ・ドン等)	
子育て支援	6月	ズンバゴールド	東優紀さんを講師に迎え、20組の親子で募集した。ズンバゴールドは保護者に大変人気で、希望者が多い講座になっている。保護者も身体を動かしたい欲求があり、気軽に参加出来るのが魅力らしい。1時間半程度だが、子どもが喜ぶような遊びの内容も盛り込まれていてトークも楽しかった。今回は、「パプリカ」の簡単なアレンジを教えてもらい、参加の親子から自然と笑顔がこぼれていた。	
	9月	親子ふれあいコンサート	茶屋桃子さんによる童謡やアニメソングを盛り込んだエレクトーンコンサート。20組で募集してすぐに予約でいっぱいになった。プロの演奏を身近に鑑賞できる機会なので、家庭で子育て中の親子には癒しの時間になった。子どもたちにも楽器を持って参加できる体験型プログラムが用意されており時間いっぱい盛り上がった。	
	1月	入園までに知っておきたい子どもの心と身体	講話には山東こども園の園長が講師と知った上での参加希望者や普段から子育てに関心のある保護者が集まった。丁寧にわかりやすく、また生活習慣も見直したいと思うこと、今すぐから役に立つ内容で、受講者との掛け合いも交えての学びの時間となった。質問にも一つ一つ納得がいくように終了の時間が過ぎても個人的な悩みに答えてくださった。	
児童クラブ	5月～ 12月	絵画造形	児童館工作室で、午後2時から4時まで実施。小学1年生～4年生が対象。講師は大木友美さん。リピーターも多い。児童の作品は11月の「龍田★キッズフェスティバル」に展示する。材料費は全9回で4000円。普段使わない道具を使う面白みや陶芸なども体験できた。最終は絵画造形クラブとしては珍しくクリスマスケーキのデコレーション作り。芸術的な仕上がりにみんな大満足だった。	
	6月～ 11月	卓球	講師は富田英子さん。午後1時半～3時半(9回)。龍田体育館が使用できるようになり、会場を体育館に戻した。本格的な実施を想定していたが、冷暖房の入らず、小学1年～6年生の年齢差、子どもの体力の個人差に配慮して、暑い間は体育館から、クーラーが効く公民館ホールに会場を変えて実施した。公民館ホールの空き状況により日時は変更せざるを得なくなり、新しく計画表を作成し周知を徹底した。保護者の理解も得られ、健康管理の面では安心して活動できた。	
	6月～ 11月	キッズダンス	講師はB-スマイルの坂本かよさん。午後2時～4時、全9回の講座。講師は子どもに人気で受講も無料なので参加もしやすいようだ。基本の動きに加え、「龍田★キッズフェスティバル」のステージで作り上げた集大成を発表する機会を作っている。1年～6年生まで興味関心、集中力も違うが、各々がパートをきちんとマスターして表現する事でまとまっていた。自分の事で精一杯でなかなか下級生に教えたりする余裕はなかったようだが、のびのびと活動出来ていた。	
特別行事	11月	龍田★キッズフェスティバル	公民館主催行事に児童館として参加。「キッズフラダンスクラブ」のステージ発表、及び「絵画造形クラブ」の作品展示で小学生講座を締めくくった。ダンスは1年から6年生までいるので力の差はあるが、組み立てて上手にまとまって個性も出せていた。キッズダンスクラブは、閉講式も同時に行い、講師との別れに寂しがる子どももいて離れがたいようだった。作品展示は、家族だけでなく一般の来館者も、子どもののびやかな作品に目を細めほほえましく鑑賞していた。	
(母地域 親組 クラブ 等活動)	9月	敬老の日 プレゼント作り	ハーバリウムの講師の資格者である会長の指導により、子どものメッセージカードと共に保護者がハーバリウムボールペンを作成した。花を選び、色を決め、時間をかけてプレゼントのボールペンを作った。初めて体験する保護者も指導を聞き、花を入れ過ぎない、オイルの量を調整するなどを聞いて各々考えたり褒めあったりして保護者が満足したようだ。	
	10月	わんぱく運動会	たんぼぼクラブの大きなイベントで、児童館と協力して行った。プログラムや参加のおみやげなどは役員会で検討し、その場も役員のコミュニケーションの機会となっていた。日曜日開催なので両親で参加、祖父母の観覧もあった。兄妹も参加可能。公民館ホールは通常は土足のため、赤ちゃんや1歳児でも靴を履かずに参加できるように広いビニールシートの上にクッション性のあるマットを敷き詰めて対応した。親も子ども張り切って走り回り楽しくてたまらない様子だった。	
	12月	餅つき会	毎年お手伝いの餅つきボランティアの方2名、公民館職員などもつき手に参加し、みんなで行う年中行事となっている。調理室でお湯を沸かしてもち米をふかし、中庭を餅つき会場とした。機械でもこねた。役員の進行で、餅つき体験をし、家庭から持ってきた調味料でつきたての餅を食べ、貴重な経験となった。子どもは保護者見守りのもと、餅をのどに詰めないように少しずつ食べたり、1歳児は食べさせない等の安全面には十分注意して、事故がないよう配慮を怠らず、楽しい体験で終われるよう努めた。	